

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第178号（5. 2. 7） 神戸市小中学校のより良い給食を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>1. 神戸市の小中学校給食において、化学肥料や化学合成農薬の使用を通常栽培よりも減らして栽培された「こうべ旬菜」など、人と環境により一層配慮した作物を可能な限り使用するとともに、その品目を増やし、地産地消の推進を図ること。</p> <p>2. 神戸市の小中学校給食において、輸入小麦の残留農薬による健康被害など、食の安全性への懸念があるため、パンや麺類の小麦に、出来る限り残留農薬のない国産小麦を使用することや、化学調味料や食品添加物を極力使用しない献立を検討すること。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 KOBEMAMASUMI 津田 かおる ほか2名</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>教育こども委員会</p>

中  
神戸市小学校のより良い給食を求める陳情

令和5年2月7日

神戸市会議長 安井 俊彦様

(陳情者) 住所 神戸市中央区

団体名 KOBEMAMASUMI

代表者氏名 津田 かわる

林 寛子

和田 寛子

(電話番号)

〈陳情趣旨〉

平素より学校給食では、栄養素が考えられ、毎日違うメニューを組み立てて調理してくださる事で、日々子どもたちの食の世界が広がっていくことに感謝しております。

私共も、子どもたちが等しく食べることのできる学校給食は、子どもたちの心身が最も成長する時期において、非常に大切なものであると考えております。

しかし、近年増加しているアレルギーや心身の不調の原因の一つとして、農薬や添加物、遺伝子組み換え食品などとの関連が指摘されるようになってきました。また、輸入小麦の残留農薬による健康被害も懸念されています。

神戸市の小中学校給食に、無農薬、無化学肥料、非遺伝子組み換えの作物や伝統的な製法と原材料のみで作られた調味料の使用、そして、化学調味料や食品添加物を極力使用しない安心安全な食事を求める署名に、1か月で2000筆を超える署名が集まりました。

未来を担う子どもたちの健やかな発達と免疫力向上のため、また、農薬や化学肥料に頼らない持続可能な生産による地域農業の発展のため、以下の項目について陳情します。

(陳情項目)

1. 神戸市の小中学校給食において、化学肥料や化学合成農薬の使用を通常栽培よりも減らして栽培された「こうべ旬彩」など、人と環境により一層配慮した作物を可能な限り使用するとともに、その品目を増やし、地産地消の推進を図ってください。

神戸市の小中学校給食において、

2. 輸入小麦の残留農薬による健康被害など、食の安全性への懸念があるため、パンや麺類の小麦に、できる限り残留農薬のない国産小麦を使用することや、化学調味料や食品添加物を極力使用しない献立を検討してください。